

常設実施に挑戦！

市民に定着したフードドライブで食品ロス削減



受付期間 令和3年10月1日～11月30日

受付窓口 新座市環境課

参加のきっかけ

新座市では平成30年度から、イベント時にフードドライブを実施してきました。今年度、コロナ禍でイベントが開催できない中、市としてフードドライブを実施しようと企画していたところに県からの呼び掛けがあり、キャンペーンに参加することとしました。

そのため、新座市では県のキャンペーン期間よりも1か月早い9月からフードドライブをスタートしています。

実施方法や役割分担

食品は環境課で受け付けています。窓口に持って来てもらった食品は職員が対面で受け取り、台帳に記載して期限管理を行います。

フードドライブの実施期間中は環境課で保管し、生活支援課に必要な食品があれば取りに来てもらい、それ以外は環境課からフードバンクネット西埼玉に提供しています。

課題や今後について

9月からの実施期間内は常設で食品を受け付けていますが、市としては特に負担に感じていません。イベント時の実施に比べて食品の保管期間が長くなったので、保管スペースの確保については、少し考えたいと思っています。

平成30年度にフードドライブを始めた頃は手探りで実施していましたが、ノウハウも蓄積され、市民にもフードドライブという取組が浸透しているように感じています。

フードドライブは、すでに家にある余った食品を持ち寄ってもらうので、市民に負担を求めることなく食品ロスの削減に繋げることができ、地域福祉にも貢献します。今後については、市内で活動する団体への食品提供も考えており、フードドライブの取組を継続していきたいと思えます。

ボックス設置で負担軽減！

町民にも職員にもやさしいフードドライブ



受付期間 令和3年10月1日～11月30日

受付窓口 上里町社会福祉協議会

参加のきっかけ

上里町社会福祉協議会では、コロナ禍以前から社会福祉協議会の予算で食品を購入して食品の支援を行ってきました。コロナ禍以降は社会福祉協議会で購入した食品に加え、企業や住民から寄付を受けた食品等も一緒に提供する活動になっています。

今回のキャンペーンについては、既の実施している取組の中で対応できるものだったので参加することとしました。

実施方法や工夫点について

今回のキャンペーンへの参加を機に、食品等の寄付受付をボックス設置型に切り替えました。これまでは、寄付する方に申込書を記入していただき、職員が対面で確認の上、受領証を記入してお渡ししていました。コロナ禍以降、食品等の寄付件数も増えており、受付時の確認と受領証の交付が職員の負担となっていた側面があります。食品の寄付ボックスを設置することで、職員にとっては大きな負担軽減になりました。

また、寄付する方にとっても、一点二点の食品等で申込書を記入して受領証をもらわなければいけないのは心理的にも負担だったようで、「ボックスになって寄付しやすくなった」という声も聞かれました。

課題や今後について

ボックス設置型に切り替えてから、週に1回程度の確認作業で済むようになりました。町民の方も気軽に寄付できるようなので、続けていきたいと思えます。

今後は社会福祉協議会内に冷凍ストッカーを置き、冷凍食品の寄付にも対応していきます。